



# 2021 12月 園だより

認定こども園 下関短期大学付属第二幼稚園  
山口県下関市彦島塩浜町2丁目2-21 ☎ 083(266)5821

## もったいない

先日の「お店屋さんごっこ」では、PTAの皆様には大変お世話になりました。子どもたちが喜ぶ商品を仕入れてくださったり、各お店を華やかに装飾していただいたりしたおかげで、子どもたちは買い物をととても楽しんでいました。また、保護者の皆様にもチケット購入のご協力、ありがとうございました。当日の様子を「てのりの」で動画配信していますので、どうぞご覧ください。



もったいないばあさん

また、土曜日開催の作品展では、園児たちの力作を熱心にご鑑賞いただき、ありがとうございました。「芸術の秋」を満喫されたことと思います。作品展に向け、園児たちはがんばって製作に取り組みました。また担任も園児の作品を演出するために毎日がんばりました。会場全体が絵本の世界に包まれていましたね。密を避けるため3部に分散しましたが、終わった後には皆様次の部の方のために速やかに駐車場を空けていただき、おかげでスムーズな交代ができました。

さて、以前通園バスの路線に、鉄筋コンクリートのアパートを壊している工事現場がありました。そこのそばを通るたびに、年少組のある女の子が「もったいないねえ。」と私にこぼしていました。立派な建物が日に日に無残な姿に変わっていく様子をバスの窓から眺めながら、3歳の子の心にも切ないものがあったのでしょうか。私が驚いたのは、3歳の子が「もったいない」という言葉を発したこと。その女の子のおうちでは、きっと日常茶飯事として「もったいない」が浸透し、食事を始め様々な場面で物を大切にすることを習慣が受け継がれているのでしょうか。

ノーベル平和賞を受賞したケニア共和国の故ワンガリ・マータイ氏は、「もったいない」という概念をそのままの言葉「MOTTAINAI」として全世界に広められました。そして、国連が中心となり世界中が目標としているSDGsにも「もったいない」精神が盛り込まれ、食品ロスを始め、資源の無駄使いを少なくしていく取組が進められています。作品展で展示した園児の作品には使用済み日用品も随所で使っています。使い終わったものを再利用し、新たな命を吹き込む教育もまさしくSDGsの一環だと言えます。

マータイ氏によると、「もったいない」はまさに日本人の美德を代表する言葉だそうです。一方で「使い捨て」という日本語。確かに分かりやすい言葉なのですが、「捨てるなんてもったいない」と思うものもあります。不織布マスクもその一つ。世界中で毎日おそらく何億枚もゴミ箱に捨てられるこのマスクを何かに再利用することはできないものか、あるいはリサイクルしたマスクはないものかと思ってしまう。不織布マスク同様、使い捨て用の製品のパッケージによく表示されている英語「disposable」。この言葉の語源は「別の所に持っていく」という意味だそうです。であれば「使い捨て」ではなく、せめて他にいい言い方はないのでしょうか。「もったいない」という世界に誇れる言葉を持ちながら、「使い捨て」は子どもの前では使いたくない言葉です。

絵本「もったいないばあさん」シリーズの著者、真珠まりこ氏は、「もったいないはケチとは違う。もったいないには愛がある。」と述べています。（「もったいないばあさんの知恵袋」～講談社）これからクリスマスやお正月にかけて、子どもたちはさまざまなプレゼントをもらうことと思います。ぜひ大切に扱わせてください。汚れたら洗う。壊れたら修理する。それでも駄目なら部屋の飾りにするなど、できるだけそばに置き愛着をもたせてください。粗大ごみに出したら、もったいないばあさんがおうちにやって来ますよ。

（園長 寺本 明生）